

# 臨床検体の利用

## 第一部

18:00～18:30

### バイオバンクの品質管理に関する取り組み

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授  
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター ゲノム情報管理部門 部門長

森田 瑞樹 先生

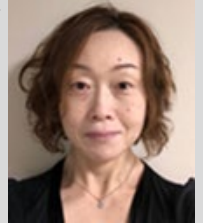


医学・生物学の70%以上の論文は結果が再現できないと言われている。原因の1つに臨床検体の品質がある。つまり、臨床検体の採取・処理・保管・輸送などの各工程をどのように管理するかが重要である。臨床検査においては以前より品質管理の取り組みが進められてきたが、近年は遺伝子関連検査における品質管理も注目を集めている。本講演では、臨床検体を大規模に扱うバイオバンクにおける品質管理について紹介する。

18:30～19:00

### 企業による検体利用を可能にする仕組み

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター  
病院教授  
竹内 朋代 先生



つくばヒト組織バイオバンクセンターでは平成25年より民間企業も含めた外部研究機関への試料分譲を開始した。しかし、試料が利活用されていると言い難く、その原因としてユーザーとのニーズの不一致があると考えに至った。そこで、筑波大独自の分譲形式としてユーザーの要望に応じた試料を分譲する「オンデマンド分譲」を実施して試料の利活用を促進することを考案した。本講演ではオンデマンド分譲の体制を整える過程で生じた課題や対応策について紹介する。

## 第二部

19:00～19:40

### 質疑応答・ディスカッション

ファシリテーター

慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター 特任教授  
西原 広史 先生

2019. 3. 12 火

18:00～19:40 JKiC1階会議室

主催：JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター

共催：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

お問合せ先：JKiC産学医連携部門 Mail: jkic-info@adst.keio.ac.jp